

卒業おめでとう。晴れて卒業の日を迎えた皆さんに、心からお祝いの言葉を贈ります。

皆さんが入学した2015年は北陸新幹線が3月に開業、4月にはアップルウォッチが発売になり、9月にはラグビーワールドカップの歴史的勝利に

学び方の作法は 身についたか？



学長 成田 健一

興奮した年でもありました。

その後のウェアラブル端末の普及は目まぐるしく、今やジョギングを楽しむ多くの人が愛用しています。インターネットを例にとれば、その出現から20年足らずで、それ無しでの生活が考えられない状態になっています。科

学技術の進歩は留まることを知りません。この先もっと変化のスピードが速まることを考えると、このような劇的な変化を、皆さんは何度も何度も経験する人生を送ることになります。

そのような背景から「大学で習ったことは社会に出たらすぐに陳腐化する」とよく言われます。しかし私は必ずしもそうは思いません。教育には「コンテンツ」と「トレーニング」の二つの側面があり、前者は陳腐化するかもしれませんが、「学び方の作法」を身に付けるという後者の側面は、変化に対応するために「生涯学び続ける

ければならない」とこれからの社会では、益々必要となるでしょう。大学で学ぶ意味は、まさに何歳になっても新しいことを身につけられるスキルを培うことにあると思います。

社会にある問題の多くに正解はないし、正しいかどうかなんて誰も教えてくれません。大事なものは、答えに至るまでの「探求のプロセス」です。生き残るために学び続ける。そのためには好奇心をもって、「ワクワクしながら楽しく学ぶ」ことです。スポーツ心理学では「好きなこと×努力」が成功への方程式と言われています。

先日、本学の情報工学科の卒業生が青年海外協力隊としてエスワティニ（旧スワジランド王国）でPCインストラクターをしていることがテレビで紹介されました。皆さんも是非、彼に負けないくらい、自分の好きなことを追求して、天職に巡り合ってください。